

## 市民意識調査による課題の整理

### (1) 移住・定住の際に求められる生活環境について

本市で暮らす上で不安なこととして「降雪量の多さ」や「公共交通機関の不便さ」、「就職・転職先の確保」を挙げていることから、本市としては除排雪対策や公共交通の利便性向上、就労機会の確保が移住・定住を実現する上で特に重要な取組みとなります。

また、本市での暮らしを豊かなものとするため、買い物や娯楽などの充実が求められているほか、住みやすく魅力的なまちになるために、産業（商工業、観光業、農林業）の活性化や子育て環境の充実も必要とされています。

### (2) 結婚について

独身者の6割が将来結婚することを希望しており、結婚の希望を実現するためには「安定した収入を確保できるような雇用や経済活動の環境整備」や「結婚に対する経済支援」、「子育てしやすい職場環境」といった結婚後に安心して生活できる環境を求めていることが分かります。

### (3) 出産、育児について

市民の約7割、大学生の約6割が子どもを持つことを希望しており、妊娠や出産に対する支援や母子の医療体制の充実など、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりが求められています。

また、子育てにおいては、義務教育課程や高校・大学課程における経済的負担軽減が求められるほか、就学前の保育・教育の定員確保など、仕事を続けながら子育てできる環境を求めていることが分かります。

### (4) 卒業後の進路について

本市の高校生、大学生の多くは、進学や就職の機会に市外への転出を希望する割合が高く、希望する就職先があったとしても米沢市外に出ていく学生が多いという特徴があります。学生が本市に魅力を感じ、残ってもらえるような郷土愛の育成が求められています。

また、学生が就職先を選択する上では、希望の業種・職種や給与水準の高さはもちろんのこと、福利厚生等の充実や仕事以外の時間の確保を重視しており、ワークライフバランスを重視した働き方を希望していることから、仕事と家庭が両立できる雇用環境の充実について、地域の企業などとともに取り組むべき課題となっています。

### (5) 転出後の本市との関わりについて

転出後も本市への愛着を持つ転出者は6割にも及ぶ一方、Uターンの希望は1割にとどまっていることから、Uターン希望者を増やすための魅力ある地域づくりやUターン希望者への職や住環境の支援のほか、転出後も継続して本市に関わる「関係人口」の創出が重要な課題となります。